

## 生活困窮者のさらなる支援求める

### 令和3年決算特別委員会で

11月9日から11日の3日間、令和3年決算特別委員会で質問しました。消費者行政について、来年4月から成年年齢が18歳に引き下げられることから、特に若年者に対する消費者被害防止の取り組みを求めました。また、児童虐待防止のための児童相談所の体制強化、子どもの貧困対策、さらに、コロナ禍における生活困窮者へのさらなる支援を求めました。コロナ禍における多文化共生社会の実現に向け、在住外国人に対する支援やSDGsの本道における推進状況についても聞きました。



北海道議会議員  
〈札幌市白石区〉

# 森しげゆき通信



2022  
新春号

## 令和3年第4回定例道議会で一般質問



## 「コロナ禍、万全の対策を！」 知事に要請

12月6日、第4回定例道議会の一般質問で新型コロナウイルス感染症対策をはじめ飲食業や観光業など厳しい経営環境にある企業への支援、また、ゼロカーボン北海道の推進や通学路の合同点検結果を踏まえた道の対応などについて質問しました(※2、4面にコロナ関連記事掲載)。

### ◎新型コロナウイルス感染症対策について

- ・第6波に備えた万全の医療提供体制の構築
- ・新たな変異株(オミクロン株)の監視体制の強化
- ・3回目のワクチン接種に向けた取り組み

### ◎観光振興について

- ・「どうみん割」の拡充
- ・国のGoToトラベル事業再開に向けた道の取り組み

### ◎赤潮対策について

- ・漁業者の減収に対する支援
- ・試験研究機関の研究体制
- ・赤潮原因プランクトンの監視体制強化

### ◎道道の維持管理について

- ・道道岩見沢桂沢線の道路陥没を受けた維持管理の強化
- ・除雪機械へのICT技術を活用した除雪体制の充実

### ◎私立高校生の修学支援について

- ・コロナ禍における家計急変世帯への支援
- ・就学支援金制度の充実

### ◎米の在庫解消に向けた取り組み

### ◎原油価格高騰への対応

主な質問項目

## 令和4年度予算要望を受ける

北海道経済連合会から

11月30日、道議会公明党として北海道経済連合会から「2022年度北海道の施策および予算に関する要望」を受けました。



内容は新型コロナウイルス感染症からの出口戦略として、長期に亘り打撃を受け続けた観光・宿泊・交通・飲食業者やその取引先を中心に、「国内外のコロナ後の回復需要」の取り込みとその際の労働力確保に向けた施策の推進、また企業のデジタル人材育成・確保に向けた取り組み、さらにゼロカーボン北海道の目標と具体的な実行計画の策定など、多岐に渡って要望いただきました。道議会公明党では、これらの要望を新年度の予算要望はじめ議会質問に反映させていただきます。

### 森しげゆきプロフィール

- 昭和28年6月12日 香川県坂出市生まれ
- 昭和47年 国立詫間電波高校(現香川高専)卒業
- 昭和56年 神戸大学経済学部卒業
- 平成6年 時事通信社退職
- 平成7年 北海道議会議員初当選
- 平成31年 同6期目当選
- ◆北海道議会 総務常任委員会 理事  
産炭地域・エネルギー問題調査特別委員会 理事
- ◆公明党北海道本部 代表代行
- ◆北海道議会 公明党議員団 団長

●●● 皆様の声をお寄せ下さい ●●●

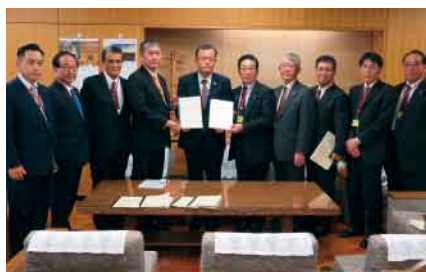
### 森しげゆき事務所

〒003-0025 札幌市白石区本郷通2丁目北3-21  
TEL 011-860-4151/FAX 011-865-9043  
URL <http://kmpplan.net/usr/mori/>  
E-mail sigemori@seagreen.ocn.ne.jp

発行:森成之/編集:ケー・エム・プラン

## 林務関連施策で要望

11月17日、北海道森林・林業活性化推進議員連盟として、武部新、中村裕之の両農林水産副大臣、天羽隆林野庁長官(=写真)をはじめ、道内選出の国会議員に令和4年度の林務関連施策及び予算に関する要請活動を行いました。



2050年カーボンニュートラルの実現に貢献するため、森林整備と木材利用を推進する森林吸収源対策への支援、また北海道胆振東部地震により崩壊した森林の再生、さらに、「北海道北の森づくり専門学院」の学生をはじめとした森林づくりを担う人材の育成に対する支援などについて要望しました。

推進議員連盟として  
森林・林業活性化

# 一つ一つの課題に向き合いながら

前年に続きコロナ禍と向き合った2021年。影響は様々な方面に及び、多くの方の悲痛な声を伺いました。そうした一つ一つの課題を見つめ、対応に取り組みながら、本会議や委員会の質問に繋げてまいりました(1面・4面参照)。

ワクチン接種推進

## 札幌医科大学に協力を要請

道議会公明党として、新型コロナウイルス感染症対策について、6月8日、鈴木知事宛てに申し入れました。

内容は、札幌医科大学や医師会と連携し、市町村への医療従事者の派遣や、道独自の接種会場を早急に確保すること、また、自宅療養者が必要な支援を受けることができる体制を構築することなどを求めました。

さらに、札幌医科大学の塚本泰司学長に対しても同様の申し入れを行いました(=写真上)。この中で、塚本学長からワクチン接種会場への医師などの派遣について、積極的に協力していただけるとの話がありました。



## 道の大規模接種会場を視察

6月24日、道独自の新型コロナワクチン大規模接種会場を視察し、運営状況などの説明を受けました(=写真上)。

ホテルエミシア札幌(札幌市厚別区)に開設した会場は、札幌、江別、千歳、恵庭、北広島の各市と当別町の65才以上の住民の皆さんを対象に、1日最大1,000人接種が可能となっており、道医師会、札幌医科大学、道看護協会などの協力をいただき、開設することができました。

道議会公明党としてこれまで、道に対して道独自の接種会場を早急に開設するよう求めておりました。

## 貸し切りバス事業者を支援

### 議会質問で道の支援を実現

9月22日、コロナ禍による観光需要の低迷で大変厳しい経営環境にある貸し切りバス事業者から、道に対する支援の要望をいただきました(=写真下)。

道議会公明党として、第3回定例道議会において貸し切りバス事業者の支援について質問したところ、「車両維持経費に対する補助など、制度設計などを早急に検討する」との答弁があり、その後、支援が決定しました。

今後とも地域の交通ネットワークを支えるバス事業を応援してまいります。



## JR貨物

### 建設中の大規模物流施設を視察

4月17日、札幌市白石区内のJR貨物「札幌貨物ターミナル駅」構内で建設中の大規模物流施設「DPL札幌レールゲート」を視察しました。

同ゲートは地上3階建て、延べ床面積約86,916㎡、北海道・東北最大級のマルチテナント型物流施設で、集荷、配達、保管、荷役、梱包、流通加工などを一貫して行うことができます。

2022年の5月に完成予定で、北海道の農産物をはじめ総合的な物流サービスの向上につながると期待されております。



## 三笠市内で道路が陥没 現地で原因等を探る



11月15日、三笠市内で道路が陥没し、車の転落事故が発生した現場を調査しました。

11日午前3時ごろ、三笠市内を通る道道・岩見沢桂沢線で深さ約6m、長さ約7mに渡って陥没し、通行中の車1台が穴に転落し、乗っていた3人の方が重軽傷を負われました。

今回の調査を踏まえ、道議会質問などを通し、原因の究明とともに道路の維持管理の強化を求めました。

## 猛暑による農作物被害を調査

道内の各地域で6月、7月の雨不足や記録的な暑さにより農作物の生育に影響が出ており、9月8日、札幌市、石狩市の農家を訪問し、被害状況を調査しました。

農家の方からは「タマネギが肥大化する時期に雨が降らず小玉で収量が減少している」また、「ブロッコリーは花蕾がドーム状になっていないものなど、廃棄せざるを得ないものが多い」との話を伺いました。



道議会公明党としても、国や道に対して営農継続に向けた支援策を求めました。

農漁業被害は、まず現地調査から

11月26日、太平洋沿岸で発生した赤潮による漁業被害調査のため浦河町を訪問しました。

日高振興局の北村英則局長からは「日高管内における被害額がウニで約8億円、サケで約1,000万円のほ



か、ツブやミズダコ、ナマコの漁獲量も大幅に減少しており、長期的には被害がどの程度になるか見通せない」との話を伺いました。また、漁業者からは「これほどの被害は初めてで、支援や補償の仕組みをつくってほしい」との要望をいただきました。

これらをもとに、第4回定例会で漁業者の支援や資源回復が迅速に進むよう求めました。

## 赤潮による漁業被害を調査